

「桐生市行政改革方針」実施計画に係る進捗状況及び効果額について【令和5年度】

○R5 進捗状況

No	実施施策	実施計画における取組内容	主担当課	R5 進捗状況 (担当課)
1	行政評価制度の活用による事務事業の見直し	(1) 評価結果を予算に反映させるマネジメントサイクルの確立 (2) 評価方法の簡素化及び事務の効率化	・ DX 推進室	B
2	定例業務の見直し、民間委託等の推進	(1) 「トップランナー方式」における対象業務の民間委託	・ 人材育成課 ・ 教育総務課	C
		(2) 「公共サービス改革基本方針」における窓口業務の民間委託	・ 税務課 ・ 納税課 ・ 市民課	
		(3) 他市の先進事例を踏まえた業務の民間委託	・ 魅力発信課 ・ 人材育成課 ・ 税務課 ・ 健康長寿課	
3	柔軟かつ簡素で効率的な組織体制の構築	(1) 簡素かつ効率的な組織体制の構築 (2) 支所、行政連絡所のあり方の検討 (3) 係制から担当制への移行 (4) プロジェクト・ワーキンググループの活用 (5) 全庁的な応援体制の構築	・ 総務課、 人材育成課	C
4	適正な定員管理の推進	(1) 職員数の削減 (2) 退職者の補充抑制 (3) 臨時職員、非常勤職員及び再任用職員の活用	・ 人材育成課	C
5	ICTを活用した効率的、効果的な行政経営の推進	(1) マイナンバーカードによるコンビニ交付及びマルチコピー機導入の検討 (2) 申請や届出などのオンライン化 (3) 情報公開請求の多い情報のオープンデータ化	・ DX 推進室	B
6	公共施設の民間活力の導入、統廃合及び民間移管	(1) 民間活力による運営を検討する施設	・ 市民課 ・ 青少年課 ・ 公園緑地課 ・ 黒地城振興整備課 ・ 図書館	B
		(2) 統廃合及び民間移管を検討する施設	・ 子育て支援課、 教育総務課、 教育環境課	
7	自治組織、NPO法人及び民間団体との協働の更なる推進	(1) 自治組織、NPO法人等との協働による地域コミュニティの推進	・ 地域づくり課	B
8	人材育成の更なる推進	(1) 人事評価結果の給与等への反映 (2) 研修効果の検証 (3) 自己啓発の支援 (4) 先進都市行政視察研修の活用と政策の立案 (5) 幹部職員の早期育成 (6) 特定の業務に精通し、習熟した専任職(エキスパート)の育成	・ 人材育成課	B

No	実施施策	実施計画における取組内容	主担当課	R5 進捗状況評価 (担当課評価)
9	働き方の見直しによる時間外勤務の縮減	(1)職員の働き方の見直し (2)時間外勤務発生の要因分析と改善策の推進	・人材育成課	B
10	市税等の収入の確保	(1)口座振替の利用推進 (2)納めやすい環境の整備推進	・納税課	A
11	使用料・手数料の見直し	(1)統一的な基準の策定 (2)算定方法の明確化 (3)定期的な見直し (4)コスト削減の努力 (5)施設の管理運営に係る収支の公開	・財政課	C
12	桐生が岡遊園地・動物園の新たな収益の確保	(1)入園料・駐車場料金の徴収の検討 (2)公募設置管理制度の導入 (3)ふるさと納税の活用 (4)クラウドファンディングの導入 (7)施設内での広告活用	・公園緑地課	B
		(5)地場産品等の販売 (6)オリジナル商品の販売 【研究】 (1)入園者のまちなか回遊促進策の研究	・公園緑地課 ・商工振興課 ・観光交流課 ・農林振興課	
13	広告収入の更なる拡大	(1)ネーミングライツの導入	・スポーツ文化振興課 ・公園緑地課	B
		(2)イベントのスポンサー広告活用	・スポーツ文化振興課 ・青少年課	
		(3)施設での広告活用	・総務課 ・スポーツ文化振興課	
		(4)各種業務での広告活用	・財政課 ・図書館	
14	遊休資産の利活用や売却	(1)活用可能資産の活用の推進 (2)市有施設の民間への有料貸出の検討	・財政課	C
15	委託料の見直し	(1)委託業務内容の見直し (2)委託業務の仕様書の明確化と実績確認 (3)委託先の選定 (4)長期継続契約の採用	・契約検査課	B
16	補助金の見直し	(1)終期の設定・既得権の排除 (2)外部委員による検証・評価 (3)目的、効果の検証 (4)補助率・対象範囲等の明確化	・財政課	C
17	業務インフラの見直し	(1)市有バスに代わる民間バスの一時借上げの実施	・契約検査課	B
		(2)複合機(コピー、プリンター機能)への変更	・DX推進室	
		(3)電算システム業務の見直し		

[進捗状況評価] A：計画以上、B：計画どおり、C：計画より遅れている

OR5 効果額

(単位：万円)

No	実施施策	目標効果額 上段：R5 (下段：累積)	効果額 上段：R5 (下段：累積)	R5 取組内容
1	行政評価制度の活用による事務事業の見直し	—	154 (4,945)	デジタル推進に向け、「事業」から「業務」を対象とした評価へ抜本的に制度を見直した。 各課において業務プロセス評価を実施した。
2	定例業務の見直し、民間委託等の推進	7,344 (62,200)	540 (1,620)	令和4年度末については退職者なし、令和5年度末には、退職した正規用務員1人を令和6年度に再任用職員として任用したが、算出に至らなかった。
3	柔軟かつ簡素で効率的な組織体制の構築	1,676 (13,800)	214 (614)	令和5年4月1日付で機構改革を実施し、1系の削減となった。
4	適正な定員管理の推進	35,280 (344,900)	29,520 (124,560)	職員数の削減 H30.4.1(基準) 1,090人 R5.4.1 1,048人 △42人
5	ICTを活用した効率的、効果的な行政経営の推進	—	144 (211)	昨年度に引き続き、コンビニ交付及びマルチコピー機の運営を実施したほか、電子申請システムの全庁導入を実施した。
6	公共施設の民間活力の導入、統廃合及び民間移管	2,808 (46,100)	2,462 (2,462)	(自然観察の森) ・全国の自然観察の森を対象に、民間活力導入に関する調査を実施 (野外活動センター) ・施設全般の修繕箇所の確認と一部改修実施 ・施設利用が少ない冬季期間における企業研修の誘致 ・民間への委託内容の研究 (斎場) ・施設整備方針の早期決定を目指し、みどり市議の斎場施設の視察の受け入れを実施した ・桐生・みどり共同事業協議会での協議を開始 ・先進地視察(足利斎場) (幼稚園・保育園) ・令和7年度の幼保統廃合に向け、関係各課により検討・協議を実施した。

No	実施施策	目標効果額 上段：R5 (下段：累積)	効果額 上段：R5 (下段：累積)	R5 取組内容
9	働き方の見直しによる時間外勤務の縮減	11,172 (108,600)	6,618 (34,690)	時間外勤務の削減 時間 金額 H29(基準) 116,941 時間 2億7,279万円 R5 88,559 時間 2億661万円 △28,382 時間 △6,618万円
10	市税等の収入の確保	5,389 (47,100)	6,013 (28,385)	全国統一QRコード(eL-QR)を導入。 口座振替利用促進として、電話催告での勧奨、訪問員による依頼書及びチラシのポストインを実施。
11	使用料・手数料の見直し	—	215 (1,019)	各課において適正な料金を算出するための統一的な基準を策定中。
12	桐生が岡遊園地・動物園の新たな収益の確保	—	2,236 (12,617)	・桐生が岡遊園地・動物園整備事業ふるさと桐生応援寄附金にて募集 ・桐生が岡遊園地事業・桐生が岡動物園事業企業版ふるさと納税にて募集(動物園) カピバラ舎新築に向けたふるさと納税の積立(基金積立) (公園緑地課) 自動販売機を活用した販売を実施。 (観光交流課) まちなかへの回遊を促すため、低速電動コミュニティバス「MAYU」を定期的に運行した。
13	広告収入の更なる拡大	1,100 (9,600)	1,871 (5,930)	ネーミングライツの導入 ・桐生が岡遊園地 ・桐生が岡動物園 ・市民文化会館 ・市民体育館 ・桐生球場 ・陸上競技場 図書館雑誌カバーに対する広告の活用 公用封筒掲載など
14	遊休資産の利活用や売却	959 (10,800)	893 (△2,373)	・遊休資産の一元管理資料を作成 ・間ノ島団地の一部敷地を売却 ・旧養護学校の跡利用決定
16	補助金の見直し	5,666 (68,000)	0 (0)	補助金の適正化ガイドラインについては、原油価格・物価高騰等の影響により市民生活に多大な影響が生じているため、昨年度に引き続き、本格運用は見送りとなっている。
	計	R5年度目標 71,394 全体累積額 (711,100)	50,880 (214,680)	R5 目標効果額に対する達成率 71.3% 全体目標累積額に対する進捗率 30.2%